

# EAP コンサルタント技能検定

## 制度概要・応募要領

(一社) 国際 EAP 協会 日本支部

2019年1月

# 目 次

## ◆EAPコンサルタント技能検定 制度概要

1. 制度の目的・趣旨
2. EAPコンサルタント”の定義（CEAPとの違い）
3. EAPコンサルタントの活動領域
4. 検定審査応募資格
5. 検定合格の効果
6. 検定制度の実施主体
7. 検定方法

## ◆EAPコンサルタント技能検定 応募要領

1. 応募申し込み方法および提出資料について
2. 録画映像の内容および作成方法
3. レポートの作成方法
4. 審査結果の通知
5. 審査官とプロセス
6. 検定申込申請書
7. 映像撮影同意書
8. 別添資料「ロール役作りシート」

## ◆EAPコンサルタント技能検定 制度概要

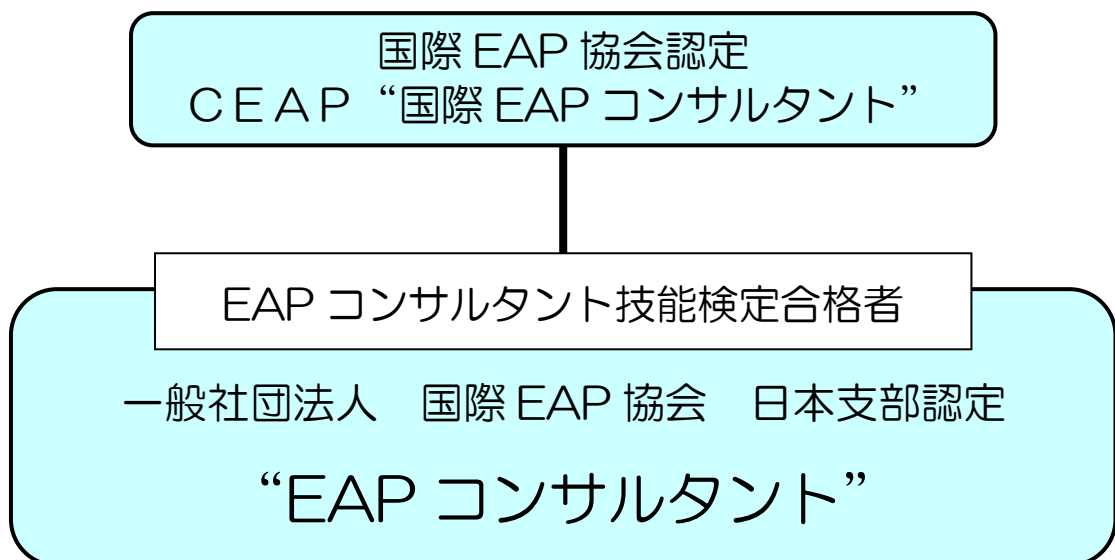
### 1. 制度の目的・趣旨

EAP コンサルタント技能検定（以下「検定」と呼ぶ）は、Employee Assistance Professionals 協会（EAPA）の正式な下部組織である、

Metropolitan Tokyo Branch of  
the Employee Assistance Professional Association  
（一般社団法人 国際EAP協会 日本支部）

が、EAPA 認定の Certified Employee Assistance Professional（CEAP：国際EAP協会認定EAプロフェッショナル）有資格者の増加推進に資すること、および、本検定合格者の活動を通じて、EAPに関する有用性と認知度を高め、働く人々の物心両面における生活の質の充実に寄与することを目的として実施する、EAPの基礎知識、スキル及び、倫理・行動規範のルールを備えたEAP専門家育成のための検定制度である。

また、この検定制度はCEAPの資格取得を目指すための導入・教育及びEAPへの理解を深める機会としても活用されることを期待して制定されている。



## 2. ” EAP コンサルタント” の定義（CEAP との違い）

“EAP コンサルタント”とは

国際 EAP 協会 日本支部が公式に認定した者を指す。協会が実施する検定に合格した者に与えられる認定資格である。

この資格を持つ者は” EAP コンサルタント”として活動ができる。その活動の範囲は、EAP に関する基礎知識を活かし、職場への EAP の普及活動を担うことにある。基礎知識とは、EAP コアテクノロジーの中核となるマネジメント・コンサルテーションの初動が的確にできることを指す。

~~~~ 検定合格者の名称（名刺等に記載できる表記）~~~~

●日本語表記

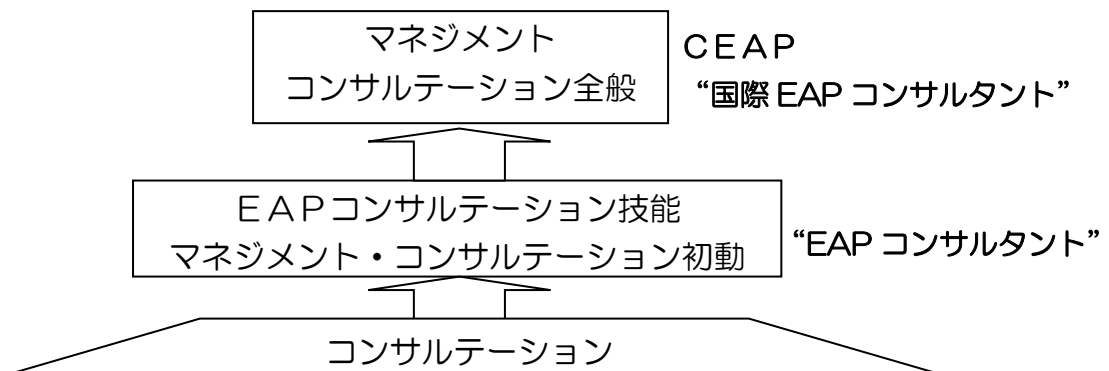
一般社団法人 国際 EAP 協会日本支部認定 ” EAP コンサルタント”（認定番号）

●英語表記

EAPA—Tokyo “EAP Consultant - Basic Level”（認定番号）

~~~~

「” EAP コンサルタント” と” 国際 EAP コンサルタント” の位置づけ」



★” 国際 EAP コンサルタント” とは、

”EAP コンサルタント”の上級資格となる、CEAP 認定委員会(Employee Assistance Certification Commission : EACC) が付与する資格である。CEAP 「シーブ」(国際 EAP 協会認定 EA プロフェッショナル)とも呼ばれる。

この資格は、日本国内だけではなく、世界各国(米国以外の国々)で通用する資格である。CEAP 有資格者は、コアテクノロジーを実践できる者として国際的に認められた者で、EAP に関する専門的な知識を活かし、コンサルテーションなどをはじめとした支援やサービス提供を、職場やクライアントに自ら直接行うことができる。

### 3.” EAP コンサルタント” の活動領域

“EAP コンサルタント” は、日本国内において以下のような活動を行うことが出来、また期待される。

- EAP の認知度を高めるための普及活動
- EAP を効果的に提供するためのニーズリサーチ及び営業（プロモーション）活動、またそれに伴うコンサルテーション
- EAP が扱う領域における各種講座や講習・研修会の実施

#### (1) 臨床系援助業務資格保有者で EAP 専門家を目指す人

既に働く方のカウンセリングを実施している場合は EAP カウンセラーと区分する。主に EAP 全体の中では部分的な業務であるセルフリアーやマネジメントリファーマによる個人に向けたカウンセリングやセラピーの実践であり、それぞれの認定団体、専門家団体が指導する範囲の対人援助に関わる技法を実践しているという位置づけをしている。

検定に合格することで” EAP コンサルタント” して EAP 全体の基礎技能であるマネジメント・コンサルテーション技能があると位置付ける。これは既に取得した資格や受けた訓練等に付加されることである。

#### (2) 臨床系援助業務資格「無」保有者で EAP 専門家を目指す人

特にカウンセリングやセラピーの資格や訓練の経験はないものの、業務上対人援助に関わる仕事をしている者が検定に合格すると EAP 全体の基礎技能であるマネジメント・コンサルテーション技能があると位置付ける。これは個人向けのカウンセリングやセラピーができるという位置づけではない。

#### (3) その他 ” EAP コンサルタント” が行えること

一定の要件を満たせば、EA 技能検定講習の講師および審査員、CEAP 養成講座の講師・アドバイザー、スーパービジョンなどができる。

## 4. 応募資格

検定への応募資格は、「EAP コンサルタント技能検定講座」を修了していることが必要です。

※「EAP コンサルタント技能検定講座」の受講条件は、特に定めはありません。

## 5. 検定合格の効果

Employee Assistance Professionals 協会（EAPA）が定義する EAP のメソッドを理解することが出来、EAP に関する活動に対する自信となる。また、“EAP コンサルタント” というステータスを獲得することにより、自身の活動の品質と信頼性を対外的に高めることが期待される。

合格者は“EAP コンサルタント”として活動を開始することができ、名刺等に表記することができるようになる。この意味は“EAP コンサルタント”として産業領域と医療、カウンセリングの領域をつなぐ基礎的な仕事ができるということを目指す。

## 6. 審査の実施主体と方法

審査に関わる事項については、一般社団法人国際 EAP 協会 日本支部（以下、「当協会」と呼ぶ）にて厳格に管理、実施される。

審査は直接の面接等は行わず、別に定めるコンサルティング（実技）の記録映像と、レポート提出により行われる。

※審査員は、当協会が審査能力ありと認める者を選任する

※審査は、審査員が各々の結果を元に、合議の上、厳格に判定する

※合格者は一定の条件を満たしたのち、CEAP の受検資格が与えられる

# EAP コンサルタント技能検定審査応募要領

(2020年度)

国際 EAP 協会 日本支部（以下、「当協会」と呼ぶ）では、次の期間に、EAP コンサルタント技能検定を実施します。

2020 年度

第 1 回検定実施 2020 年 7 月

第 2 回 2020 年 2 月

※具体的な日程は、当協会ホームページより告知されます。

## 1. 応募申込方法および提出資料

「EAP コンサルタント技能検定講座」を受講し、講座を受ける中で、検定を受ける必要があります。指導を受けながらコンサルティング（実技）場面の記録映像を行い、審査を受けることとなります。

### ①提出書類（講座主催団体へ提出）

- 受講・検定申込書
- 映像撮影の同意書
- レポート（検定後に記入：審査の対象となります。講座内で担当講師が説明いたします）

※記載内容について当協会より問い合わせすることがあります

※検定受検者より提出された資料は、一定期間、当協会にて保管したのち処分いたします。ご了承ください。

### ②検定料金

●講座受講費用：	25,000円（税込）
検定審査料：	15,000円
合 計	40,000円

※講座前に講座主催団体に納入をお願いします

※講座受講費用には、テキスト代 1,000 円（税込）が含まれます

### ③講座の内容

「EAP コンサルタント技能検定講座」は、講座主催団体の開催となります。講座は講座モデル例（後記参照）に準じ、講座主催団体の定めるスケジュールにより講座学習総時間 11 時間以上、基本 2 日間で構成されます。

開催予定は、当協会のホームページをご覧ください。

※講座は、CEAP 資格保持者、CEAP のスーパービジョンを受けている者により実施されます

#### <特別措置期間のご案内>

「EAP コンサルタント技能検定講座」を受講し、検定を不合格となった方の、直接の検定を本年中に限り受付いたします。

希望される場合は、事務局へご連絡下さい。必要なお続きをご案内いたします。



<講座例 1日目4時間、2日目7時間モデル>

	日程	章	学習テーマ	時間	形態
事前学習	講座前	1. EAP 基礎知識	(1) EAP コンサルタント技能検定の目的	自宅 学習 6時間	テキ スト 教材
			(2) EAP とは		
			(3) ”EAP コンサルタント” とは		
			(4) EAP の歴史		
講座受講	1日目	●事前学習テスト	EAP 基礎知識の理解度確認テスト	1時間	試験
		2. EAP 概論	(1) コアテクノロジー(基本業務)	2時間	講義
			(2) 周辺の広範囲な業務		
			(3) コンサルテーションに類似した用語の定義		
		3. EAP コンサルタントの倫理と行動規範	(1) 倫理と行動の考え方	1時間	講義 演習
	●倫理テスト	理解度確認テスト	試験		
	2日目	3. EAP コンサルタントの倫理と行動規範	(2) 行動規範	1時間	講義 演習
		4. EAP コンサルテーション	(1) コンサルテーションのステップと進め方	1時間	講義
(2) 効果的なコンサルテーションのコツ			5時間	演習	
(3) ロールプレイ演習(検定含む)					

(ご注意)

※<講座モデル例>は一例です

※適時休憩が入ります(2時間毎に10分間休憩が基準となります)

※検定を受検されない方も、(3) ロールプレイ演習の時間は、実技デモン  
ストレーションの演習を行います

## 2. 録画映像の内容および作成方法

### \* 講座内で担当講師がご説明いたします

録画映像については、応募申込者が実際にコンサルティングを実施している場面を撮影して頂きます。コンサルティングは以下の要領で実施して下さい。なお、撮影は通常、講座期間内に行われます。

- (1) コンサルティ（相談をする人）は、応募者の責任で探して頂きますが、後述する相談ケースに合わせて適切と思われる方を選んでください。
- (2) 相談のシナリオはコンサルティに任せ、コンサルティが現実<sup>に</sup>直面している事実ではなく、架空の事例を想定するようコンサルティに依頼して下さい。

※次の「ロールプレイ役作りシート」程度の情報は、予め設定して下さい。この情報は、コンサルティとコンサルタントがロールプレイ前に共有し、予め双方が把握していることを前提に開始して下さい。

### ● 「ロールプレイ役作りシート」記入例

(\*宿題ではございません。講座内で担当講師が説明いたします)

ロールプレイ役作りシート						
① 部下の復職のことで上司が来談						
○概要	休職していた部下が復職してくるが、どのようにしたら良いのか、管理監督者としての対応方法を知りたい。					
○コンサルティ	イ					
業種	規模	地域	職種	職位	性別	年齢
精密機械製造	300名	関東の地方都市	製造グループ	チームリーダー	男性	45歳
備考：						
○相談の経緯	同様の経験がある同期入社ของทีมリーダーからEAPの情報をもらって自ら相談に来た。					
○クライアント（課題を持っているとされる対象者）						
関係	性別	年齢	状況			
チームの部下	男性	38歳	うつ病で2年間休職したが、来月から復職する。			
備考：短時間勤務制度あり						

(3) 相談ケースは下記のケースの中から一つを選んでください。

① 「部下の復職のことで上司が来談」

休職していた部下が復職してくるが、どのようにしたら良いのか、管理監督者としての対応方法を知りたい。

② 「メンタル不調になった部下について上司が来談」

最近、休みがちで気にかかる部下がいる。カウンセリングを勧めたいが、どのようにしたら良いか。管理監督者として出来ることを知りたい。

③ 「問題行動の従業員のことで人事部門担当者が来談」

職場での態度、言動に問題があり、ハラスメントの行為者として名指しされた従業員がいる。上司や同僚も扱いに困り距離を置いている。総務人事としての役割と対応のポイントを知りたい。

④ 「会社の EAP 対策のことについて人事担当者から相談」

ここ数年、メンタルヘルス不調の社員が増加傾向の会社の人事担当者から、EAP への取り組みについて教えてほしいとの依頼があった。どのような対策を行えば良いか知りたい。

3. レポートの作成方法 **\*講座内で担当講師がご説明いたします**

(1) テーマ：①コンサルティが抱えている問題点、②達成可能と思われるゴール、③ゴール達成のために取りうる選択肢、④予想される障害、⑤その他（500字以内）

(2) 用紙サイズは A4 を使用して下さい。

※審査レポート（見本）

(審査レポート)

テーマ:①「部下の復職のことで上司が来談」

コンサルタント 協会太郎

①コンサルティが抱えている問題点

復職者に対してどのように接していけばよいのかが分からない。また、メンタルヘルス不調者への対応が初めてのため、組織としての対応の進め方が分からない。

②達成可能と思われるゴール

- ・社内リソースを活用し、部下の状況把握の分担をはかる
- ・他社での対応例を紹介し、コンサルティの心理的負担を軽減する
- ・定期的な部下面談を行うコンサルティに、専門的な助言を行う

③ゴール達成のために取りうる選択肢

- ・コンサルティ面談のほか、定期面談を産業保健スタッフに依頼する
- ・部下面談後のコンサルティにフォローアップの連絡を入れる
- ・産業保健スタッフから主治医への連携を促す

④予想される障害

- ・社内リソースの不足、物理的な(場所、時間帯)連携の取りづらさ
- ・部下本人の拒絶 →拒絶時は、部下へカウンセリングを提供しフォロー

⑤その他

会社リソースの整備が遅れており、コンサルティ(直属上司)による対応が多く求められる状況であった。そのためコンサルティの上司への協力体制を、より固められるようプランを立てている。

以上、490字

#### 4. 審査結果の通知

審査結果については、当協会より郵送にて発表いたします。

#### 5. 審査官とプロセス

技能検定講習で担当した講師が審査官になることはできません。当協会が審査官(テキスト参照)を2名選定して、映像とレポートの審査を行います。

## 検定申込申請書

※講座主催団体にご提出をお願いします。EAPA

※全ての情報を明確に記載いただきますようお願い申し上げます。

1. 候補者<sup>ふりがな</sup>受験者名 \_\_\_\_\_

—

2. <sup>ふりがな</sup>会社名 (所属団体) \_\_\_\_\_

3. <sup>ふりがな</sup>住所 〒 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

4. 電話番号 \_\_\_\_\_ Fax \_\_\_\_\_

5. E-mail \_\_\_\_\_

6. 国際EAP協会日本支部の会員ですか？EAPA

はい  いいえ (受検に際しては、協会会員 EAPA である必要はありません)

7. 「EAP コンサルタント技能検定講座」を修了していますか？

はい  いいえ (終了していないと受検できません)

\*2日間コースの方、再受検の方は「はい」となります

一般社団法人

国際 EAP 協会 日本支部 御中

# 映像撮影同意書

私は、私の個人情報の取り扱いにあたり、以下の事項をすべて理解し、同意するとともに、その証として本書を提出します。

1. 私は、(一社)国際 EAP 協会 日本支部の検定審査に際する映像撮影の際に、以下に記載する私の情報が提供されることに同意いたします。

・氏名          ・顔写真          ・会話動画          ・音声など

2. 講座開講団体が私に対して、他の目的で(※)個人情報、その他の資料の使用に関する同意、開示を求めた場合には、自己の判断のもと、これを同意し、または同意しないことが出来ることを理解いたします。

※個人情報とは、生存する個人に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの(他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含む)をいいます。

3. 検定受検者より提出された資料は、一定期間、当協会で保管したのち処分いたします。あらかじめご了承ください

年          月          日

氏名： \_\_\_\_\_

別添資料「ロールプレイ役作りシート」 ★講座内でご説明いたします

ロールプレイ役作りシート

---

○概 要

--

○コンサルティ

業 種	規 模	地 域	職 種	職 位	性別	年 齢

備考：

○相談の経緯

--

○クライアント（課題を持っているとされる対象者）

関 係	性別	年 齢	状 況

備考：



※ご不明な点は、当協会までメールにてお問い合わせください。

●お問合せ先

一般社団法人 国際 EAP 協会日本支部 事務局

e-mail : support@eapatokyo.org

URL : <http://www.eapatokyo.org/>

〒105-0003 東京都港区西新橋 2-33-4-702

レジリエ研究所内